

まちの日記帳



“水の事故” 防止 小学生着衣水泳教室

8/25

町へき地複式教育研究連盟（委員長：佐々木俊朗日司小学校長）は、日司・野塚・余別の三小学校合同で、水泳学習の一環とした着衣水泳教室を行いました。この教室は、子どもたちが、普段から岸壁や海岸での磯遊びに親しんでいることから、海中に転落した際の対処方法を学び、水の事故防止に理解を深めることを目的に実施されました。

子どもたちは、実際に着衣のままプールに入り、泳ぎにくさを実感。大の字になって浮かぶ方法や、ペットボトルなどで体が浮くことを体験し、全国で多発する水の事故防止のための学習を行いました。



個性あふれる名作 第4回少年教室「俳句教室」

9/4

町教育委員会が主催する第4回少年教室「俳句を作ろう」が行われました。

自然に触れて季節を感じ、表現力や想像力を養うことを目的に開催されたこの教室には町内の小・中学生13人が参加。

美国踏青俳句会(成田智世子会長)を講師に、5・7・5の短い文書に季節を感じる俳句についての説明を受けた後、題材探しに秋の気配が漂いはじめた黄金岬へと向かいました。

それぞれが感じた自然や季節感をもとに出来上がった句は、どれも子どもたちの柔軟な発想力の光る、個性あふれる句となりました。



今年は631人の長寿をお祝い 平成22年度 積丹町敬老会

9/15

平成22年度積丹町敬老会（同実行委員会主催）が町総合文化センターで行われました。

敬老会の対象は、町内に在住する75歳以上の方々と、631人。当日はそのうち124人が出席されました。

式典では、菊谷富弥積丹町敬老会実行委員会委員長の挨拶に引き続き、88歳の米寿を迎えられた20人を代表して、この日出席された澁谷素江さん(美国町)、小山榮三さん(入舸町)、大島正二さん、岩本ヤエ子さん（ともに野塚町）の4人に松井町長から祝品が手渡され、長寿の節目を祝いました。

婦人会や保育所による踊りやカラオケなども披露され、楽しいひとときを過ごしました。



陶器づくりにチャレンジ! 第3回リフレッシュ学級

9/16

今年度第3回目となるリフレッシュ学級「陶芸教室」が総合文化センターで行われ、4人が参加しました。

講師の荻野正さん（野塚町）の指導のもと、思い思いの陶器づくりにチャレンジ。粘土をこね、手びねりで形を整えながら柄をつけるなどして、皿や花瓶など個性あふれる作品が完成しました。

作品は、素焼や釉掛けなどの行程を経て、毎年11月に開催される文化祭作品展示会へ出品することとしています。



これからの福祉向上を目指して 北星学園大学がまちづくりアンケート調査

9/17~19

北星学園大学社会福祉学部福祉計画学科（札幌市）は積丹町住民のまちづくりとおつきあいに関するアンケートの聞き取り調査を行いました。

この調査は、今後の高齢社会をよりよい社会にするためのデータ収集として、国からの助成を受けて、北星学園大学と日本福祉大学が共同で実施するもので、町もアンケートの回収などに協力しています。

調査項目が多く難しい質問もある調査でしたが、たくさんの方に快く答えて頂きました。

お忙しい中、調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



大川商店の「糠塩ほっけ」が優秀賞受賞 後志水産加工品ブランド品評会

9/19

後志水産加工品ブランド品評会（実行委員会：後志管内の6市町村や小樽水産加工振興協議会などで組織）の表彰式がウイングベイ小樽で開催され、積丹町から大川商店（美国町）の「糠塩ほっけ」が優秀賞を受賞しました。

この品評会は後志管内の水産加工品のブランド力の向上と販売促進を目的に開催され、後志管内の水産加工会社15社から出品された25品の水産加工品から最優秀賞1点と優秀賞8点が選ばれました。

また、後志の秋の味覚を集めた「後志収穫祭」も同会場で開催され、(株)ペニンシュラの「ウニ入り岩海苔」を販売するなど、たくさんの来場者においしい秋の味覚をPRしました。

